

どの子どもも輝き  
笑顔いっぱい  
とねがわ幼稚園

よい頭・よい寝・強い体

# とね幼だより



再開の日には こいのぼりの下で仲間と共に歓声を 園長 笛木 哲



風が止まり動力を無くしたこいのぼりの尾びれが垂れ下がると、競って飛びつくはずの無邪気な子どもたちの姿のない幼稚園は、ひっそりと静まりかえっています。ソーシャルディスタンス（社会的距離の保持）という言葉が人と人とを区切っている日常が、当たり前になりつつある世界は、距離だけが思いやりの表現となっています。会えない子どもたちとの物理的な距離

はありますが、心と心の距離だけは繋がっているといいなと願います。現在、各ご家庭から事故や病気の連絡は一件も入っていません。安心すると同時に、これからも続くよう祈ります。職員も全員が元気も、やる気もいっぱいに、再開後の準備を進めています。再開の日には、もう一度、こいのぼりを子どもたちの頭の上で泳がせ、令和2年度のスタートを喜び合いたいと思います。

## 令和2年度のとねがわ幼稚園の教育について

入園式を行った翌日から臨時休園になっていましたが、非常事態宣言の延長により、子どもたちと会える日が1ヶ月先延ばしになってしまいました。6月1日の再開が約束されているわけではありませんが、5月中に緊急事態宣言が解除されることを想定し、幼稚園再開後の保育についての方向性をお知らせします【別紙参照\*】。子どもたちの「命」（保護者の皆様、職員も同様です）を守ることを最優先しての保育内容になります。

また、登園に当たり、幼稚園は、保育者と子ども同士がお互いに密に関わる活動も多く、細心の注意を払って保育を行っても濃厚な接触を避ける事が出来ない状況にあります。そこで、『各ご家庭では、登園前に体温測定を行い、風邪等の症状がある場合は登園させない、日常生活において感染予防を徹底する』『幼稚園では、保育者も同様の健康観察を行うと共に、感染予防対策を徹底する（例えばコップも『コップ袋』に入れて個人で管理します。5月末までに準備をお願いします）をご理解の上、登園させてください。』



コップが入る大きさの袋を準備してください。

\*5/8付「令和2年度とねがわ幼稚園の教育について（緊急事態宣言延長を受けて）」参照

## 再開に向けての準備とお願い

在園児においては3月から始まった臨時休園が、5月末には3ヶ月にも及ぶことから、集団生活への適応能力が衰えていることが考えられます。また、新入児においては、高揚感をもって入園式に参加しましたが、長引く家庭での生活により、集団生活に対する不安感が増大しているかもしれません。多くの子にとって、しばらくぶりの幼稚園への登園は相当なストレスになることが予想されます。

そこで、再開後、園生活へスムーズに移行できるよう「衣服の着脱」「排泄」「あいさつ」「返事」「靴揃え」を、この休み中にご家庭で身に付けられるよう取り組んでいただけるとありがたいです。こうした基本的な生活習慣に関わることは、日々の繰り返しの中で身につくものです。一つ一つの積み重ねが本人の自信となり、きっと幼稚園生活を楽しいものにしてくれるはずです。

再開後の幼稚園は、我慢を強いられてきた子どもたちが、思う存分、友だちと一緒に「遊び」を通して多くを学び、また集団生活のよさを体感できるよう、子どもたちの心と体を解放することを目的にして保育をして参ります。



「虫かごの中にかくさんの虫を入れたよ」

- 【年少】一人で衣服の着脱をしようとする(ボタンのかけ外しも含めて)。
- 【年中・年長】一人で衣服の着脱が素早くできる。脱いだ衣服をたためる。
- 【年少】排泄が自立する。※本年度より使用したオムツは持ち帰りをします。
- 「おはようございます」等の挨拶ができる(相手の目を見て)。**【年長】誰にでも。**
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる。
- 靴を脱いだら揃える。**【年少】靴・上履きを自分で履くことができる。**

これができれば、立派な「とねっ子」だよ！

## ベランダ菜園のすすめ「水やりのタイミングが大事」

新聞の中に見つけた見出しです。「病虫害対策は予防が大事。一番のポイントは、野菜(子ども)を健康的に育てること。その時最も大事なのが水やり(子育て)。面倒見がよすぎる人(甘やかす親)は乾いた土の表面(可愛い我が子の泣き顔)を見て「野菜(我が子)がかわいそう」と感じて水をやりすぎ(手を出しすぎ)てしまう。すると野菜(子ども)は根を伸ばすのを怠るようになる(自分でやろうとせずに指示待ち人間になる)。簡単に水分を吸収できない(甘やかされない)から、野菜(子ども)は土が乾いている間(我が儘が通らない時)、水を求めて(自分でなんとかしよう)根を伸ばそうとする(頭で考えようとする)。それで茎や葉も(子どもの体も心も)育つ。」

こうして言葉を置き換えると、健康な野菜を育てるのは、子育てと同じように甘やかしすぎは禁物ということが分かります。「水っぽく(甘やかして)育ってしまうと病虫害に食われやすくなる(自分では何もしようとしなくなる)傾向があるようだから、基本的には、少し厳しめに育てて強くした方がいい。」あくまでも植物の栽培のお話です。